

第11回 新潟県 SSH 生徒研究発表会 in Echigo-NAGAOKA

7月29日(日) アオーレ長岡にて、新潟県内のSSH指定校5校に、富山中部高校を加えた6校による生徒発表会が行われました。

午前中はステージ発表が行われ、本校からは、下記の「お米のとぎ汁からの乳酸菌のスクリーニング」の研究班が英語による、ステージ発表に臨みました。スライドに合わせて、堂々と流暢な英語で発表し、質問にも的確に答えました。

午後はポスターセッションが開催され、本校からは、下記9班が参加しました。総勢100を超える研究テーマが並び活気にあふれた会場でした。

生徒は10分ごとの「ターム」の中で発表と聴講を3セット繰り返し、さまざまに刺激を得ることができたようです。



3年 20名

「お米のとぎ汁からの乳酸菌のスクリーニング」

3309 小池彩葉 3233 吉野愛沙美

「海水温上昇が生物に与える影響」

3215 小山蒼樹 3217 佐藤実萌吏 3317 高橋千紘

「流星塵の新しい回収法の提案」

3210 倉賀野由郁 3234 渡辺颯斗 3225 松井裕生 3227 宮崎僚 3225 矢代誠

「プラスチックを溶かす”スムシ”の研究」

3330 島津誠二郎 3121 田中光大 3123 田村奏 3221 乗岡一道 3409 河内汐音 3509 佐藤澄青
3519 飛田瑠々奈

「温度差による発電」 3231 山田大翔 3206 大宮莉歩 3316 高橋仁太

「Cu、Al パイプ内を通過する Nd 磁石の運動について」

2312 近藤ひより 2322 中村心咲 2325 廣川史帆 2333 山崎美空

「柏崎の砂浜でとれた砂鉄で磁石作成」

2304 石原明樹 2314 清水琴葉 2323 新田宇央 2324 坂東聡太 2303 池田美優

「大豆からの乳酸菌の採取」

2305 江尻望美 2306 遠藤友里 2311 小林子桜 2330 丸山宇乃 2331 丸山智子

「地盤の種類と液状化の関係」

2307 大橋真杜 2308 金子和也 2310 小暮彩友香 2321 中村伊吹



その後さらに交流会が行われました。各校の生徒はバラバラになり、他校の生徒と5、6人ほどの合同チームで構造学的ゲーム(ストローをなるべく高くつなげて、頭頂部にテニスボールを乗せて、自立する構造物の作成)をしました。制限時間内に、積極的にアイデアを出し合いながらより記録を伸ばそうとする様子がどのチームにも見られました。

